

# 国語科

## 【はじめに】

各学年における国語科の学習目標は、以下のとおりです。

### 1 学年（基本）

基本的な学習内容を学ぶとともに、自主的な学習と読書の習慣を身に付ける。

### 2 学年（深化）

発展的な学習内容を学ぶとともに、自主学習と読書をより充実する。

### 3 学年（応用・発展）

高度な学習内容を学ぶとともに、自主学習と読書を深めてゆく。

## 【授業を受けるにあたって】

国語は日頃の積み重ねが大切です。短期間で読解力を養うことは至難の業です。学校での勉強以外にも様々なことに問題意識をもつようにしてください。

1年生で学ぶ国語は、「現代の国語」と「言語文化」の2分野です。どちらの授業にも、興味をもち、疑問をもって参加しましょう。先生の話聞き、板書を書き写すだけでなく、自分で考え、表現することが理解を深めます。また、必ず予習・復習をしましょう。

◆『現代の国語』は、中学校で学んだ文章よりも高度な内容になります。難解な語句が増え、扱う内容も多岐にわたります。主として「評論」を取り扱いますが、表現された内容を正確に読み取り、それについて自分で考えるということが必須であるのは言うまでもありません。

「評論」は、内容を読み取るだけでなく、それを契機として現代社会の様々な問題・領域に対して関心をもち、読書へとつなげて教養を高めましょう。また、筆者の意見をもとにして、自分自身で考え、意見をまとめたり、他の人たちと話し合いをすることも理解を深めるためには大変有益です。

◆『言語文化』では、「古典（古文・漢文）」や「小説・詩歌」等を取り扱います。特に、「古典」は、長い年月をかけて伝えられてきたものです。そこに表現されたものの見方、考え方、感じ方を理解し、自らの視野を広げていくことを心がけましょう。古典には現代の言葉と異なる点が多くありますので、それを読みこなすために語彙力、文法力、古典常識を蓄積していくことが必要となります。まずは教科書の本文を繰り返し「声に出して」読み、文体の特徴やリズムに慣れましょう。

「小説・詩歌」は、背景や展開、描写を正確に読み取り、作者や登場人物の心情や心理を丁寧におさえながら読み進めます。これまでの自分とは違った考え方や感じ方に触れ、自分の生き方や人間のあり方について改めて考えることができます。作者の生きた時代や執筆動機を調べてみると鑑賞の世界が広がります。

## ◆ 学校の授業以外に

読書をしましょう。映画・演劇などの表現芸術に触れましょう。読解力は、本来、様々な表現に触れる中で自然と身に付いていくものです。読みやすいエンターテインメントから出発して、より高度な内容の小説に歩を進めても構いません。きっかけが何であろうと、知ることの楽しさが実感できればよいのです。

## 古典の予習とノートについて

『言語文化』の中でも、「古文」「漢文」は必ず予習・復習をしましょう。ノートは「あとから繰り返し見る」、「あとから書き加える」ための道具です。余白を十分に取って書きましょう。

- ①本文を大きめの字で数行空けてノートに書き写します。
- ②教科書脚注を参考にして、意味を取りながら読んでみます。わからない語句があったら、適宜、古語辞典・漢和辞典を引いて意味を調べ、ノートに書き込みましょう。電子辞書は便利ですが、紙の辞書の方が読んだ時に多くの情報が得られます。
- ③文法書などを参考にしつつ、まずは自力で現代語訳します（できる範囲でよい）。  
参考書やインターネットの現代語訳を丸写ししてはいけません。自分で古典を読む練習としての予習です。現代語訳の予習では「自分で考える」ことを重要視します。
- ④授業中に訳したものと比べて赤ペンで修正します。「なぜそのような現代語訳になるのか」が重要です。語句の意味や古典文法に則って正確に訳すことが大切です。
- ⑤板書以外にも、先生が口頭で言ったこと、自分が疑問に思ったこと、授業中の質疑応答もノートに書き加えましょう。

はじめは、やることが多くて負担に感じます。自主的な「高校生の学習」に切り替えるのですから当たり前のことです。しかし、予習復習を繰り返していくと、必ず力がつき、要する時間も短くなります。一学期末までに自分の学習ペースを確立するつもりで試行錯誤しましょう。

## 【観点別評価の方法】

### ○知識・技能の習得（体系化、汎用性）

- ・作品を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。
- ・作品を通して、文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。
- ・プレゼンテーション等で、自分の主張を行う前に、主張と論拠など情報と情報との関係について理解することができている。

### ○思考力・判断力・表現力の育成（思考力、判断力、表現力）

- ・評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握することができる。
- ・作品の背景となる時代や国、地域の風習や文化について調べ、違いを学びつつ、作品を味わい、自分の考えを深めることができる。
- ・古典を読むのに必要な文語の決まり、古典特有の表現などについて理解している。
- ・古典作品と現代の作品との関係を踏まえ、それぞれの作品の解釈を深めている。
- ・自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報との関係や、情報の妥当性、信頼性の吟味のしかたについて理解できている。
- ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫することができる。

### ○学びに向かう力・人間性（実践力、協働力）

- ・教材として取り上げた作品の内容に関心を持ち、それらを継承していくことに自覚を持とうとしている。
- ・教材の内容、他者の考えに関心を持ち、発表を注意深く聞き、ものの見方や、感じ方、考え方を深めようとしている。
- ・教材の背景となる、時代や国、文化に関心を持っている。作品を通じて、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。

## 【教材】

今年度は以下の補助教材を購入しますが、3年間使用するものもあるので大切に扱ってください。

●…「現代の国語」の授業に持参する教材      ★…「言語文化」の授業に持参する教材

### 1 新訂版最新国語便覧（浜島書店）●★

国語で扱う文章について、作家・作品・語句など、多くの情報が掲載されています。ぜひ、読み物としても親しんでください。3年間使います。

### 2 「入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500」（いいずな書店）●

漢字・語彙についての教材です。定期的な漢字テストはこの教材主に取り扱います。3年間使います。

### 3 「これからの古典文法」（尚文出版）★

古文を読解する上で最も重要な古典文法に関しての本です。古典を学習する際、常に側に置いて役立ててください。多くの情報が載っています。3年間使います。

### 4 「読んで見て聞いて覚える 重要古文単語 315 四訂版」（桐原書店）★

重要な古文単語が多数収録されています。最初のうちは、辞書代わりに利用もできます。古文単語のテストはこの教材から出題されます。3年間で1冊覚えきりましょう。3年間使います。

### 5 「新明説漢文」（尚文出版）★

漢文の句法と語句が収められています。漢文を学習する際は、常に側に置いて役立ててください。3年間使います。